

# 技術講習会・現場見学会トピック

全国圧入協会は、環境への負荷を最小限に抑えた圧入工法を普及するために、会員の皆様と協働し、「技術講習会・現場見学会」を実施しています。

今回は、1月に開催した2つの技術講習会・現場見学会のトピックを紹介します。

## 宮崎県延岡市—大瀬川下流堤防耐震対策工事

1月15日(水)、延岡市・大瀬川下流の堤防耐震対策工事において、技術講習会・現場見学会を開催しました。



圧入工法の優位性を現場で講習しました

○国では、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震や、これに伴う津波に備えるため、堤防の嵩上げや液状化対策を進めています。大瀬川下流堤防でも液状化が発生する可能性が高く、液状化対策ならびに洪水時の浸食・洗掘防止を目的に工事が発注されたものです。

○この現場は、河川堤防上から広幅形鋼矢板 25.0～26.5m(高圧線下は 4 箇所継ぎ)を、砂礫層を含む硬質地盤に濁水期の短期間で施工する必要があり、これらの問題点を全て解決できる硬質地盤クリア工法が採用になりました。

○当日は、発注者、建設業者、設計コンサル、協会員など 27 名が参加。硬質地盤クリア工法の施工実績や最新の圧入技術について解説や質疑が交わされました。

## 宮城県石巻市—旧北上川災害対策工事

1月28日(火)、石巻市・旧北上川右岸の南浜地区護岸工事において、技術講習会・現場見学会を開催しました。



大規模な総合対策工事を見学する皆さん

○現場周辺は、旧北上川河口に近い石巻市の中心地で、津波による甚大な被害を受けました。現在、地震・津波対策ならびに洪水・高潮対策として河川堤防の整備が進んでいます。

○この現場は、換算N値214の玉石混り砂礫地盤であり、ジャイロプレス工法が採用になっています。

○当日は、発注者、建設業者、設計コンサル、協会員など東北地域の方を

中心に 63 名が参加。東日本大震災をはじめ、これまで災害を実際に経験してきた大勢の皆さんに対し、防災技術に優れた圧入工法を普及することができました。

**お名前、メールアドレスを協会へご連絡ください。会員会社の社員はサイトを利用できます。**